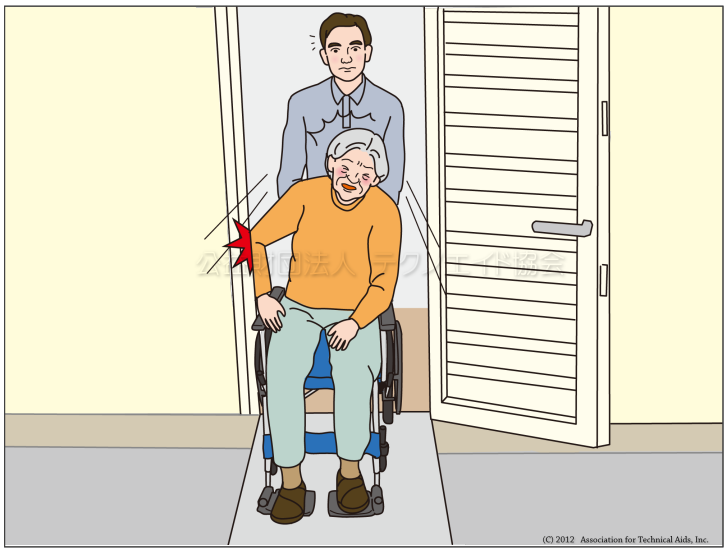
# 福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：118
はみ出していた肘が建具枠と接触し、ケガをしそうになる

## 場面の説明

利用者の肘が車いすの肘掛けよりも外に出ていることを気にせず、狭い箇所を通過しようとした




| | |
|---|---|
| 利用シーン | 移動<br>外出 |
| 主な利用場所 | 玄関<br>ドア・自動ドア |
| 介護保険の種目 | 車いす |
| 分類コード(CCTA95) | 122103 (介助用車いす) |
| 介護テクノロジー | ー |
| 二次元バーコード | |

## 解説

介助者の不注意が大きな要因ではありますが、あわてているような場面では起こりがちな事例です。ドア通過の手前ではいったん停止し、腕の位置や身体の傾きを確認したうえでゆっくりと進行するようにしましょう。

## 参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：利用者の肘がはみ出していることに気がついていなかった
環境：ドアの幅員が狭い

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.